

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



うっとうしい梅雨もどうやらうたようですが、皆様方には如何お過ごしでしょうか。

この広報誌がお手許に届きます頃には、水前寺江津湖公園で、「クマモト・グリーンピックス'86」と銘うって、第四回全国都市緑化フェアが始まっていることと思います。緑化と都市環境の整備を考えるにまたとない機会です。

このフェアをご覧になった皆様方のご意見・ご感想がこれからの街づくりに生かされ、夢多き、潤いのあ

る住環境の創出に役立つよう皆様のご協力をお願いいたします。
フェアの会場では、天皇陛下御在位六十年記念事業としての記念植樹祭も行うことといたしております。
また期間中に、世界各国から緑の権威者が集まる「熊本グリーンサミット会議」を開催し、緑の大切さについて世界のひとと一緒に考えてみたいと思っております。
昨年の阿蘇国立公園指定五十周年に引き続き、今年は雲仙天草国立公園天草地区指定三十周年、天草五橋開通二十周年に当たります。
「天草・海と空と人のまつり」をキヤッチフレーズに、七月十二日から九月二十四日まで、天草の二市十三町にシンボル旗をリレーする「ハンド・イン・ハンド・天草カーニバル」をはじめ、数々の魅力あるイベントが開催され、日本一の島おこしへの確かな始動となるのではないかと期待しているところです。
いづれにせよ、熊本の夏は男性的とでも申しませうか、暑さがきびしくなりますが、皆様にはこの暑さに負けず、大いに海や山に出かけ、照りつける太陽の下で楽しんでいただきたいと思います。

県政トピックス

身障者の自立を目指して。
「希望の里ホンダ」入社式

重度身障者の雇用の場を広げようと、県、松橋町、本田技研工業が出資して設立した第三セクター方式「希望の里ホンダ(株)」(下益城郡松橋町)の第一期生入社式が五月六日に行われた。
この日の新入生は、身障者十人を含む十五人。社長の藤本副知事らの激励に対して、「自分たちの力でやれるよう努力します」と力強い誓いの言葉が述べられた。



約二百人が出席。
県政モニター会議



今年度の県政モニター全体会議が、六月二日、県庁で約二百人のモニターが出席して開催された。
「県政の現状と課題」と題する知事の講演の後、モニターから活発な意見が出された。また午後からは、グリーンピックス会場や中央町の石段の現地見学も行われた。
今後一年間、県政への有意義な提言が期待されている。



「天草は一つ」をスローガンに。
天草島援隊発足

「天草は一つ」を合言葉に、天草島援隊の発会式が、五月二十五日、本渡市で隊員百五十名が参加して行われた。
細川知事をはじめとして多数の来賓も激励にかけつけ、大いに盛りあげられた。
島援隊の結成は、これまで二回開かれたシンポジウムがきっかけ。すでに東京のデパートで開かれた「日本の一〇一村展」に二年連続で天草特産品を出品。今後も島おこしの若き原動力としての活動が期待されている。

お土産は恐竜の卵。
モンタナ州から派遣職員

県と姉妹関係にある米国モンタナ州の州知事行政補佐官マーク・バイソンさん(三九)が、六月から一年間の派遣職員として県庁に勤務することになり、五月二十四日着任のあいさつに訪れた。お土産は、約八千年前の恐竜の卵十個(化石の複製品)。ヒップシロフォードンというこの恐竜の卵は世界的にも珍しいもので、八月一日から江津湖畔で開催される「グリーンピックス'86」の「テーマ館」に展示される。



日本づくりについて
意見交換。

知事、上益城視察

六月一日、細川知事は、上益城郡矢部町と清和村を訪れた。
矢部町柚木地区では、柚子の並木道、新製品開発、デザインづくりなど、「日本一の柚子の里」に向けて具体的な意見がかわされた。
また、良質な肥後牛の生産地として注目されている清和村高月地区では、飼育管理の技術など専門的な質問がなされた一方、肥後牛のネーミングや、最近の東京での話題など情報交換がなされた。



ふるさとを美しく。
第十四回環境週間



環境週間中の六月八日、県内全域でクリン大作戦が繰り広げられた。熊本市の江津湖公園では、午前九時から細川知事、星子熊本市長らも参加して、九千人近くが湖と陸の両面から清掃を行った。
また、画図小の子供たちは、クリン江津湖への願いを込めて、コイ・モエビ・ウナギの稚魚一万匹を放流した。

